

現行の藤沢市住宅マスタープランの構成

〈計画の構成〉

〈第1章〉藤沢市住宅マスタープラン策定の背景と目的

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 策定の背景 | 3 マスタープランの位置づけ |
| 2 マスタープランの目的 | 4 計画の構成と期間 |

〈第2章〉藤沢市における住宅と居住環境に関する現状と動向及び課題

1 基本的な動向について

- (1) 人口と世帯の動向
- (2) 住宅と住生活の動向

2 市民意識調査の結果

- (1) 意識調査の概要
- (2) 住まいの状況について
- (3) 今後の住まい方について
- (4) 住宅の安全対策について
- (5) 空き家について
- (6) 今後の住宅政策のあり方について

3 住宅と居住環境に関する課題

- (1) 課題整理の考え方
- (2) 各視点からの主要な課題

〈第3章〉住生活の将来像と基本方針

- | | | | |
|------|-----------|----------|--------|
| 1 理念 | 2 住生活の将来像 | 3 三つのテーマ | 4 基本方針 |
|------|-----------|----------|--------|

だれもが 地域とともに 住み続けられる 湘南ふじさわ
魅力ある 多様な住まいのステージへ

〈第4章〉住生活向上のための施策展開

テーマ1 誰もが安心して住み 続けられる住生活の実現

- (1) 住宅確保要配慮者(高齢者、低額所得者、障がい者、子育て世帯、外国人等)のための居住の保障(住宅セーフティネット)
- (2) 住宅の居住環境の維持向上
- (3) 勤労者や若年世代の住宅確保への支援

テーマ2 持続・循環可能な住 宅ストックの利活用と再生

- (1) 空き家の適正管理と利活用
- (2) 市営住宅の長寿命化等による利活用
- (3) 既存住宅の質的向上
- (4) 居住循環を可能とする住宅市場の形成
- (5) 災害時における住宅の確保

テーマ3 少子超高齢社会に 対応した居住環境を支えるま ちづくり

- (1) 多世代が住みやすい住宅地の形成
- (2) 高齢化が進む大規模団地の再生
- (3) 都心居住とコンパクトなまちづくりの検討
- (4) 市民等との協働・連携による住まい・まちづくり

〈第5章〉住宅マスタープランの推進に向けて

1 重点施策

- (1) 居住支援協議会による住宅確保要配慮者への支援
- (2) 空き家の適正管理の促進と利活用の推進
- (3) 市営住宅の長寿命化等による居住性の向上と活用の推進
- (4) 団地再生に向けた地域と連携した取組の推進

2 推進体制

- (1) 推進の基本的考え方
- (2) 庁内体制
- (3) 市民、NPO、事業者、関係機関等との連携

3 進行管理と見直し

- 4 成果指標等について
- 5 住宅の供給目標